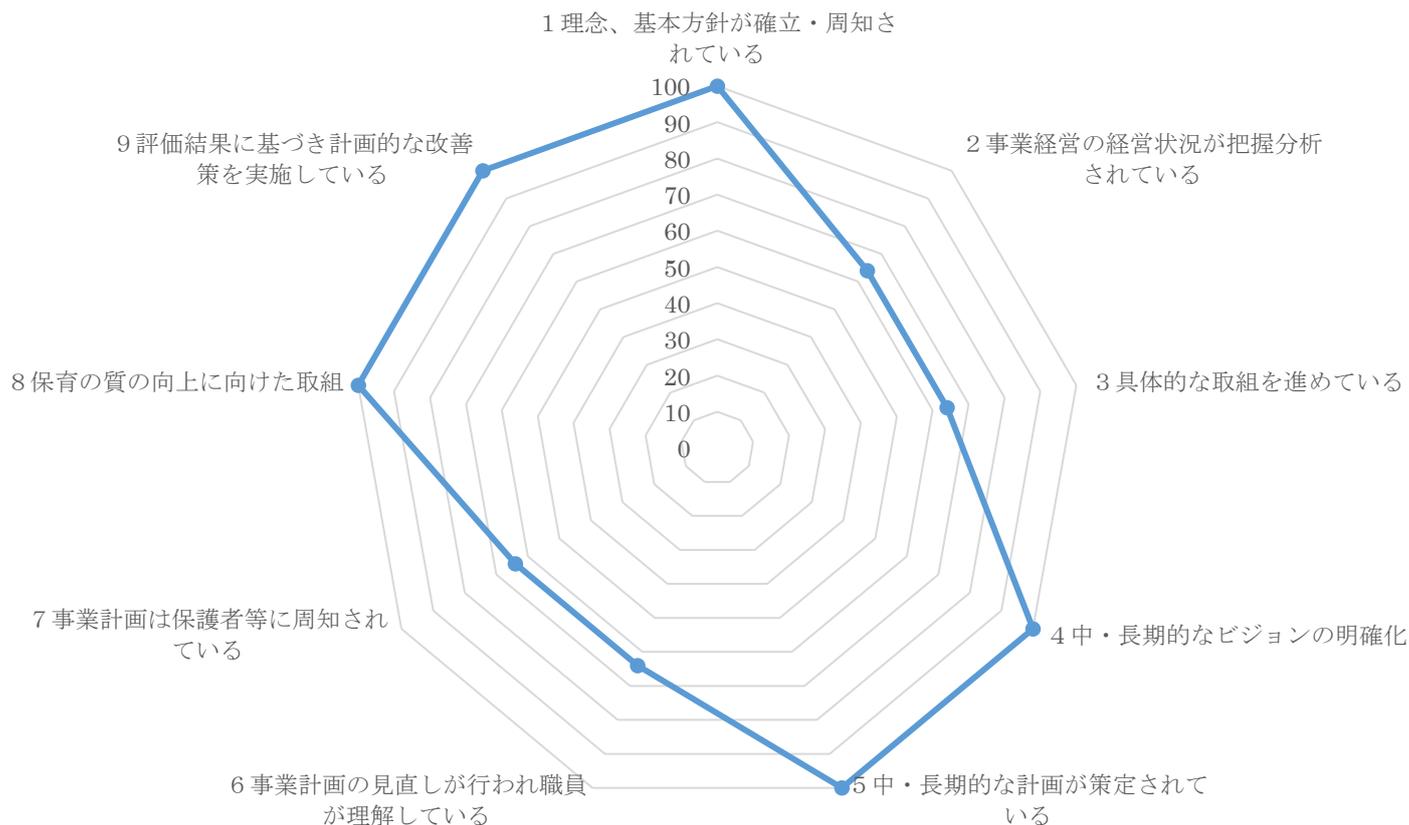


I 福祉サービスの基本方針と組織



○高評価内容

- ・法人・保育所の使命や役割を反映した理念と、これに基づく保育に関する基本方針は明文化されていて、職員・保護者への周知が十分に図られている。
- ・「中・長期的なビジョンが明確化され、計画に基づき進められている」という状況を職員も把握できるようになった。
- ・福祉サービスの評価結果にもとづき、保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。

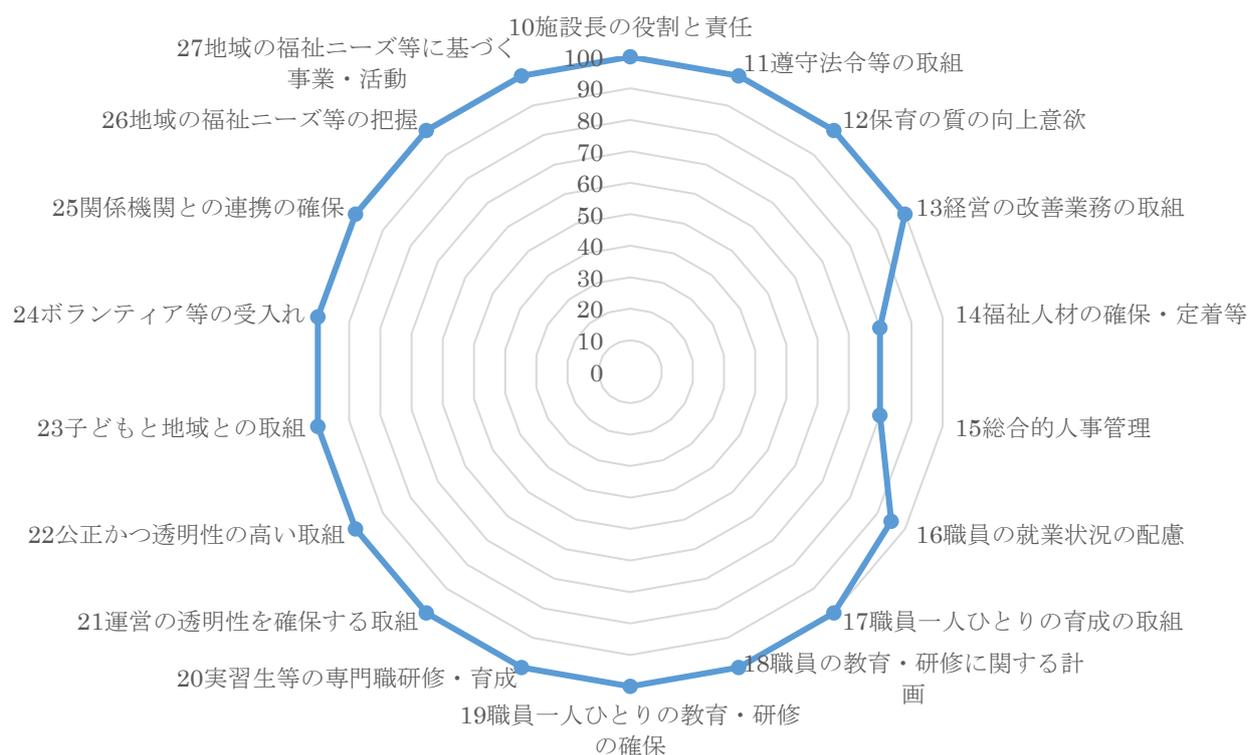
★分析後取り組みが必要な項目

6.7.事業計画の職員理解.保護者周知が不足

コメント

「事業計画・実績報告については、細かく内容を伝えきれていない部分があったのだと思う。周知の方法に配慮しているかどうか取り組みの仕方を見直していきます。」

## Ⅱ 組織の運営管理



### ○高評価内容

・職員の就業状況については、働きやすい職場づくりに取り組んでいることが周知されているとともに、業務の実効性を高める取り組みとして、業務改善に努めている

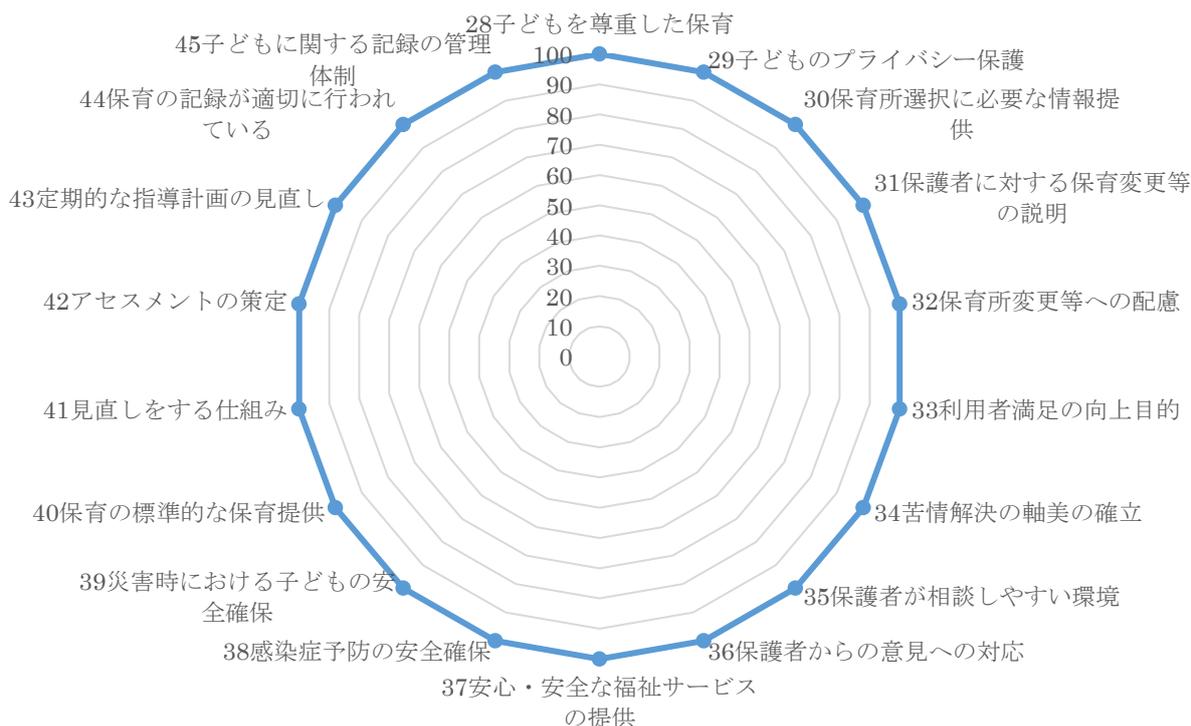
### ★分析後取り組みが必要な項目

14.15.人事管理・人材確保・定着について

☐コメント

「働きやすい職場づくりに取り組んでいるものの、職員一人一人の育成に向けた目標管理制度が不十分だと思われる。職員が自ら将来を描けるようにしていきます。」

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施



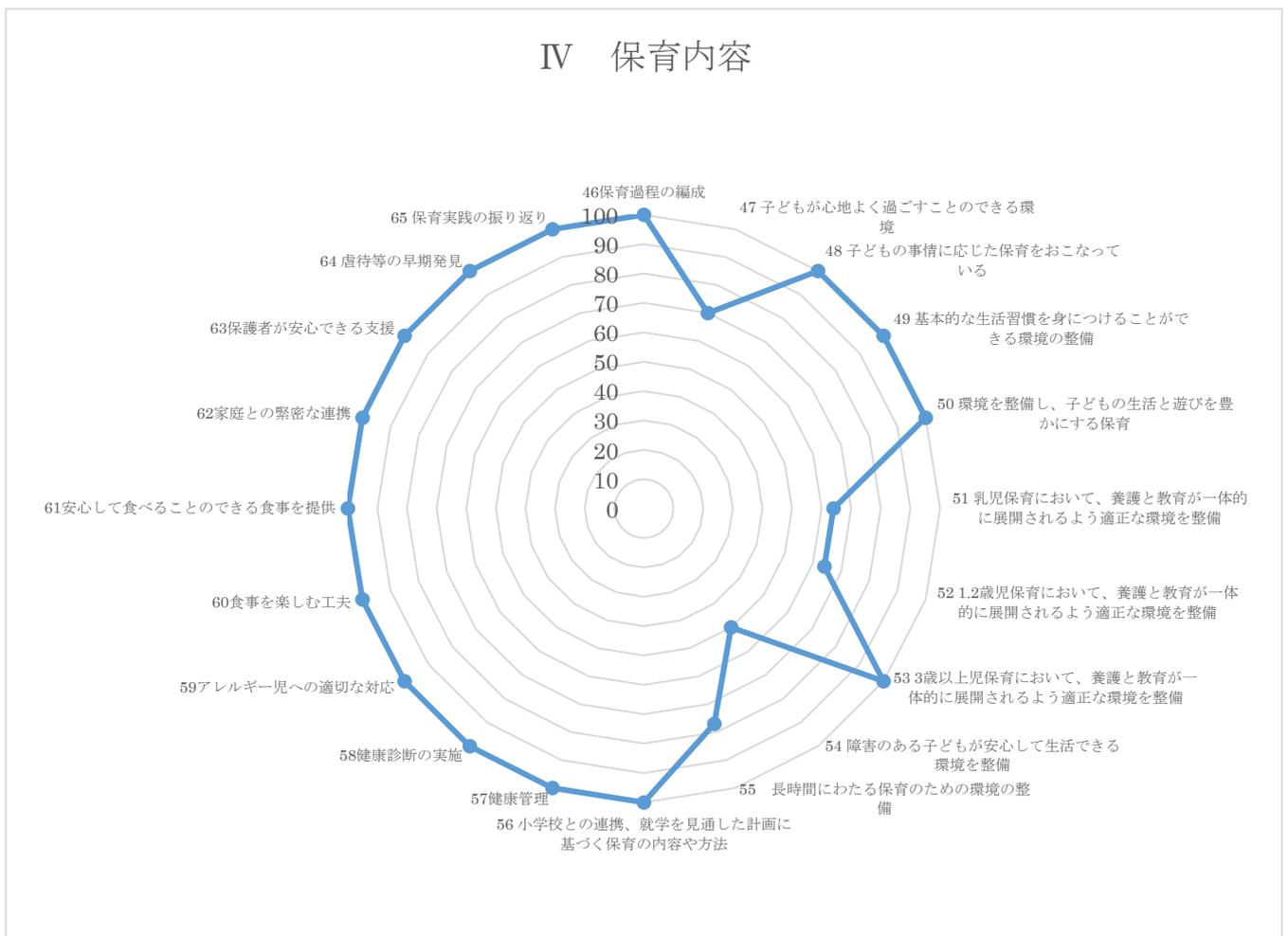
#### ○高評価内容

保護者への ICT 利用が定着化し情報提供を行っていることで保護者からも良い評価を得ている。全体的に高評価となっている。職員全体で保育について話し合いをしながら進めていることが高評価に繋がったと感じている。

#### □コメント

「今後もホームページでの発信をはじめ、交流保育や、鶴住会 4 施設での特徴的な取り組みを地域行事で披露し、情報提供していきます。」

## IV 保育内容



### ○高評価内容

マニュアル研修や安全チェック・職員研修を通じ、基本的な生活習慣が身に付くような働きかけを一人一人が意識して保育にあたる事ができるようになった。

### ★分析後取り組みが必要な項目

51.52.保育の環境整備について

コメント

「保育の環境については学校薬剤師が定期的に検査をしていることかた適切な状態を維持出来ている一方、くつろげる空間といった部分でよりよい環境づくりができることを求めています。」

54・障がいのある子どもが安心して生活できる環境整備と保育内容の配慮が十分ではない

コメント

「療育機関との連携は深まっており、個別相談は実施している。職員が更に障がいの理解や特別な支援方法の習得を望んでいると考えられる事から、研修等への参加を進めます。」